

# 序

社会医療法人財団白十字会 理事長 富永 雅也



社会医療法人財団白十字会は、1929年、初代理事長富永猪佐雄が佐世保市宮崎町に診療所を開いて以来、長崎大学、福岡大学、佐賀大学や医師会の先生方を始め、関係各位のご指導とご援助をいただきながら、昭和・平成と80数年間を歩んでまいりました。

2014年はソチオリンピックでの日本選手団の大活躍がありました。フィギアスケート、スノーボードでは10代のメダリスト(羽生選手、平野選手、平岡選手)スキージャンプでは40代のメダリスト(葛西選手)が誕生し、日本中に夢と希望を与えてくれました。

また、テニスの全米オープンでは錦織選手が日本人初の決勝進出を果たしました。結果は残念ながら準優勝でしたが、アスリート達の前人未到の領域に挑戦し、進化を続けるその姿は私たちに勇気を与えてくれました。

さて、白十字会に話を移しますと、佐世保中央病院南館が増築完成し、本館の改築工事に着手いたしました。また、介護付有料老人ホーム「ドリームステイのぞみ」およびウィークリーメディカルレジデンス(※注)「ドリームステイサンライズ」も新規開設いたしました。

工事期間中は患者さんをはじめ多くの皆様にご迷惑をお掛けしたことと思います。今回の新規事業は将来の医療体制を見据えた白十字会なりの『挑戦』と『進化』であるにご理解いただければと思います。

さて、このたび、礎病院長のリーダーシップのもと関係各位の尽力により佐世保中央病院の2014年度病院年報が完成いたしました。ぜひお手にとって、佐世保中央病院の『挑戦』『進化』を知って頂ければと思います。

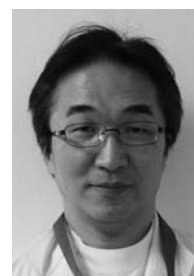
いつも佐世保中央病院に賜りますご厚情に深く感謝、お礼を申し上げ、関係各位の今度共にご指導とご援助をお願い申し上げます、序文といたします。

(※注)ウィークリーメディカルレジデンス

急性期病院から退院する際に、リハビリや介護の状況により自宅へ戻ることが難しい患者さんが療養する有料の施設。訪問看護、訪問介護、訪問リハビリテーションを利用しながら療養し、自宅退院できる状態まで過ごすことができる。

## Annual Report 2014 発刊にあたって

佐世保中央病院長 碓 秀樹



Annual Report 2014 [病院年報] の発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

2014年4月に植木前病院長の後任として佐世保中央病院長に就任し、最初の病院年報が完成いたしました。佐世保中央病院の一年間の歩みを、いろいろな角度から感じていただければ幸いです。2014年度は、南館増築・本館改築と慌ただしい中にも、10年ぶりに整形外科医2名と、元気な研修医4名を迎えて活気に満ちた一年でもありました。

病院統計として、病床稼働率(動態)86.2%、新規入院患者数6,408人(前年度より600人増)、平均入院単価、医業収益いずれも前年度を上回る結果でした。

2008年に承認された地域医療支援病院の使命として、かかりつけ医との連携強化(紹介率86.6%、逆紹介率106.2%)を最大の課題とし、また新しい講義室で各種講習会・研修会を積極的に開催しました。社会医療法人(2011年承認)として救急医療にもさらに力を注ぎ、救急外来の拡張整備と、多職種参画の救急医療を目指し「救急医療プロジェクト」を立ち上げました。その効果か救急車搬送数も2014年度2,213台と年々増加しています。

安全で質の高い医療を提供すべく、チーム医療を推進してまいりました。今後さらに短い在院日数(2014年度15.0日)で質の高い在宅復帰を目指すには、特にリハビリテーション部、栄養管理部の早期からの介入が不可欠と思われます。そこでスタッフの充実(リハビリテーション部50人、管理栄養士9人)を図り、365日体制の確立を目指しています。

また「食べられる口をつくる」プロジェクト(口プロ)を立ち上げ、2人の歯科衛生士を病棟に配置し、職員・患者・家族の口腔ケアに対する意識を高め、また侵襲の大きい周術前の口腔ケアを行うことで術後肺炎の防止を目指しています。

新規医療機器として、最新式のバイプレーン血管造影装置(フィリップス)を導入し各種診断と治療に役立っています。

患者満足度調査で、医師はじめ職員に対する満足度は前年度より高いものの、外来の待ち時間に対する満足度は決して十分ではなく、今後さらに改善が必要と考えます。2014年度から導入した、患者さんからの「ありがとうカード」は、職員にとって励みとなり一枚でも多くいただけるよう各自努力していきたいところです。

今後も全職員一つとなり、さらに質の高いそして安心とやさしい医療と看護を提供できるよう邁進していきたいと思っております。今後とも関係諸機関および地域の皆様のご指導とご支援を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

# CONTENTS

## 序

### 刊行にあたって

## ① 病院概要

沿革	6
理念・方針	11
基本情報	14
病院の取り組み	21
地域医療支援病院	22
臨床研修指定病院	25
脳卒中センター	26
認知症疾患医療センター	26
長崎県指定がん診療連携推進病院	27
日本医療機能評価機構認定施設	27
メディカル・ネット99	28
PREMISs	29
ISO15189	30
社会貢献(CSR)活動	31
「食べられる口をつくる」プロジェクト	32
救急医療プロジェクト	32
学会認定施設	33
施設基準	34
電子カルテ(HOMES)紹介	36
ボランティア活動	36
白十字会Institute	37
病院統計	
診療実績	39
紹介率・逆紹介率	40
月別外来延患者数(1日平均)	40
月別入院延患者数(1日平均)	41
病床(動態)稼働率	41
平均在院日数	42
1日平均在院患者数(静態)	42
新規入院患者数(全体)	42
救急統計	
救急外来受診者数と救急車搬入数	43
救急外来受診者の年齢分布	43
救急外来の診療科別内訳	44
救急車搬入時の診療科別内訳	44
診療情報統計	
疾病大分類	45

疾病大分類(推移)	45
悪性新生物	46
悪性新生物上位15部位(推移)	46
退院患者(上位30疾患)	47
死亡退院患者率	48
臨床評価指標	
入院中の新規褥瘡発生率	49
転倒・転落率	50
手術が必要となった入院中の転落	50
輸血製剤廃棄率	51
術中・術後の大量輸血患者の割合	52
糖尿病の患者さんの血糖コントロールとHbA1c (HbA1c<7.4%の割合)	53
入院患者におけるリハビリ実施率	54
感謝状	55
満足度調査	56
② 診療部	
外来診療担当表	66
呼吸器内科	68
内分泌内科	70
腎臓内科	71
神経内科	73
リウマチ・膠原病センター	75
糖尿病センター	77
循環器内科	79
消化器内視鏡センター	81
人工透析センター	83
外科	85
整形外科	88
脳神経外科	90
心臓血管外科	92
皮膚科	94
小児科	96

泌尿器科	98
耳鼻咽喉科	100
放射線科	101
麻酔科	103
病理部	104
認知症疾患医療センター	106
健康増進センター	110
研修医の紹介	112
学会発表実績	113

### 3 各部

看護部	130
薬剤部	136
放射線技術部	138
臨床検査技術部	140
臨床工学部	142
リハビリテーション部	144
栄養管理部	146
感染制御部	148
医療安全管理部	150
臨床研究管理部	152
事務部	
医療事務課	154
医局秘書課	156
資材課	157
施設課	159
システム開発室(法人本部:医療情報本部)	160
総務室・財務室・人事管理室	161
地域医療連携センター	162
健康管理部	164

### 4 委員会

委員会組織図	168
活動報告	
病院機能向上推進室会議	169
倫理委員会	169

診療録等開示委員会	170
治験審査委員会	170
研修管理委員会	171
医療安全管理対策委員会	171
院内感染対策委員会	172
栄養管理委員会	172
輸血療法委員会	173
臨床検査精度管理委員会	173
栄養給食委員会	174
医療廃棄物処理委員会	174
医療ガス安全管理委員会	175
放射線障害防止専門委員会	175
防火管理委員会	176
労働安全衛生委員会	176
救急部運営委員会	177
手術室運営委員会	177
ICU運営委員会	178
薬事委員会	178
クリニカルパス委員会	179
医療情報管理委員会	179
診療録監査委員会	180
保険診療検討委員会	180
物品管理委員会	181
広報委員会	181
図書委員会	182
個人情報保護運営会議	182
がん化学療法レジメン審査委員会	183
地域医療支援病院運営委員会	183
省エネルギー推進委員会	184
医療機器安全管理委員会	184
健診委員会	185
医薬品安全管理委員会	185
DPC委員会	186
提案委員会	186

### 5 巻末資料

院内行事	188
新規医療機器紹介	190
患者会・家族会活動実績	192
資格取得奨励支援制度	195
提案制度	196
学会発表実績	197